

ご存知ですか？

復興の願いを込めて折られた仙台七夕折鶴飾り。
それを再生利用してつくられたノートが
子どもたちの学習意欲を向上させるコトを!!



黒板型学習ノート「こくばん七夕ノート」を ぜひ子どもたちへ渡してあげてください!

震災復興

子どもたちの
学習支援

仙台の
人財育成

仙台らしさ
の確立

CSV
環境問題の
社会的価値共有

“街の宝物”である子どもたちを、地域ぐるみで育てる…
仙台が、そんな街であってほしいと願っています。

少し前までは三世代の大家族で暮らしている家も珍しくなく、地域の人同士も気持ちはしっかり繋がっていました。誰がどの家の子かみんなが知っていて、悪いことをすれば他人の子であろうと叱り、上級生が下級生の面倒を見ながらみんなで遊んでいました。それがいまでは少子高齢化・核家族化が進み、地域のつながりも希薄になり、子どもたちも塾やテレビゲームばかりで、泥んこになりながら暗くなるまで遊ぶなんてことは許されない状況になっています。

どんなに時代でも、変わらない大切なコト…それは人を思いやるココロ。まず私たち大人が見本を示し、行動しなければなりません。仙台独自の価値を見出す。笑顔あふれる豊かな社会にする。街の宝物である子どもたちを地域みんなで育てていく。

そんな願いを込めて大学と地域の企業との共同開発によって、この黒板型学習ノート「こくばん七夕ノート」が作られました。学ぶ意欲を向上させ、さらには震災復興・環境問題・仙台らしさ確立などにも寄与しようというこのノートを、近くにないかけがえのない子どもたちへ、ぜひ“あなたから”渡してあげてほしいのです。

この街のために、今できることをひとつひとつずつ。そんな未来を切り拓く行動こそが、ココに暮らし生きている私たち大人の使命なのかもしれません。

【商品仕様】

- ◎学用3号 (252×179) mm
- ◎2種類の野線マス
24mm (低学年用) / 10mm (中学・高学年用)
- ◎糸綴じ製本・32枚 (64ページ)

◆黒板型学習ノート「こくばん七夕ノート」

1冊

200円 (税別)



黒板型学習ノート「こくばん七夕ノート」とは？

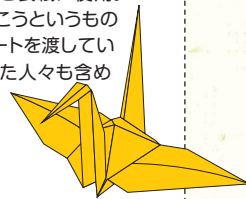
学校の教室の黒板にならって縮小した形状のノート。先生が黒板に書いた内容を、思い出して再現することが出来ることにより、授業の学習活動全体の記憶が定着。効果的な学習のために、学校の先生、子ども教室や学童クラブでの指導者、保護者も、だれもが活用できますよ!
(監修: 尚絅学院大学・松田道雄特任教授)

このノートがもたらす【良いコト】

- ◎授業の復習が効果的にできる
- ◎発表学習のツールとして有効
- ◎学校・地域・家庭をつなぐことができる
- ◎先生・実習生の板書計画ノートとしても使える

表紙用再生紙「仙臺七夕折織」とは？

2017年仙台七夕の際に、仙台市内185校の小中学生が折って展示した8万8千羽の折鶴を「仙臺七夕折織 (いおり)」という再生紙として蘇らせ表紙に使用。震災復興への思いも継承していこうというもので、ノートを使う子どもたち、ノートを渡していく大人たち、このノートを目にした人々も含めてこのエピソードに触れるたびに震災復興のことが思われ、語られ、風化させないための話題を提供するという役割も担う。



協賛企業募集中! [1口 50,000円]

◎1口あたり商品2種類1セット (400円) を125セット (50,000円相当分) 進呈いたします。※1企業何口でも協賛可。

3月11日(日) オフィスベンダー店頭にて販売開始!

お問い合わせ

【こくばん七夕ノート・プロジェクト】(株式会社 孔栄社内)

TEL.022-262-4545

koueisha@k-koueisha.co.jp

メール・WEB・FAX
24時間受付中!

ノート開発者 松田 道雄
尚絅学院大学エクステンションセンター長・特任教授

共同開発企業 鳴海屋紙商事株式会社
仙台市若林区御町2-14-5 (代表取締役社長 菅谷宗和)

株式会社 孔栄社
仙台市青葉区立町16-13 (代表取締役 佐藤克行)

◎「こくばん七夕ノート」商標登録出願中◎